

しんじょう市議会だより

No.139

2018.2.13



平成29年9月24日（日）に沼田小学校伝統の「第62回町内対抗リレー・マラソン大会」を行いました。町内旗を先頭に、堂々とした子どもたちの姿は大変たくましく感じられました。

- ・この街に学ぶ … P8～P9
- ・市民の声を聞く … P11
- ・特集 未来を育む子供たち … P12

12月定例議会

12月定例会では、平成29年度補正予算、条例改正など13議案、県人事委員会勧告に基づく市職員の給与条例の改正と各会計補正予算5議案を原案通り可決した。請願1件は不採択とし、国に「地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現等に関する意見書」を提出する議会案を原案通り可決し、12月15日に閉会した。

12月定例会で審議された議案等

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第11号	平成29年度新庄市一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認について	了承
議案	第79号	日新中学校大規模改修工事の内校舎改修工事請負契約（平成29年議案第53号）の一部変更について	可決
	第80号	新庄市市税条例等の一部を改正する条例の設定について チョイス1	可決
	第81号	新庄市産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第82号	新庄市エコロジーガーデン設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第83号	新庄市営住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	第84号	平成29年度新庄市一般会計補正予算（第5号） チョイス2~5	可決
	第85号	平成29年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
	第86号	平成29年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決
	第87号	平成29年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	第88号	平成29年度新庄市営農飲雑用水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	第89号	平成29年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	第90号	平成29年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	可決
	第91号	平成29年度新庄市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
	第92号	新庄市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定について	可決
	第93号	平成29年度新庄市一般会計補正予算（第6号）	可決
	第94号	平成29年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）	可決
第95号	平成29年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	可決	
第96号	平成29年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	
第97号	平成29年度新庄市水道事業会計補正予算（第3号）	可決	
【議員提出】			
議会案	第4号	地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現等に関する意見書の提出について	可決

チョイス1

議案第80号

佐藤悦子議員

消費税が10%になったときに自動車取得税がなくなり、新たに環境性能割が増えるとのことだが、今までの自動車取得税がなくなるとどのくらい市民負担がなくなるのか。また環境性能割の金額やその内容について、市民にとってどうなのか伺う。

税務課長

この度の改正は、軽自動車を購入する際に課税される県税の自動車取得税が廃止され、平成31年10月1日以降に軽自動車を取得する際、新たに軽自動車税の環境性能割が市税に導入されるものである。今のところ導入されることによる影響が数字としてどのような形で出るか等見通しは立っていない。環境性能割は環境に優しい燃費性能の良い車、例えば電気自動車やハイブリッド車等は税率が低くなっている。

チョイス2

灯油購入助成費 300万円

佐藤悦子議員 灯油購入助成事業の内容は。

成人福祉課長 この事業は、住民税非課税世帯のうち70歳以上のみの世帯、ひとり親世帯、重度障がい者世帯の在宅者に対して、1世帯3千円を助成するものである。

チョイス3

金沢地区外流雪溝用水導入事業費

新田道尋議員 4236万5千円減額された理由と、現在の進捗状況を伺う。

都市整備課長 この事業は国の交付金事業であり、内示を受け事業を進めていた。金沢地区については事業費が今般確定したので精算し、減額した。事業は県と共同で行っており、約半分からい進捗状況である。

チョイス4

観光振興対策事業費

叶内恵子議員 新庄まつり実行

委員会負担金200万円と印刷製本費30万円の使い道は。

商工観光課長 新庄信用金庫から頂いた寄附金200万円をそのまま補助金として、新庄まつり実行委員会を通じて山車若連へ渡したい。印刷製本費は埼玉の方からの寄附金30万円を活用する。インバウンド事業などに使って欲しいという寄附者のご意向だったので、その趣旨に合った形の市内マップ等を作る予定である。

チョイス5

新庄ハーフマラソン大会実行委員会負担金 100万円

佐藤卓也議員 ハーフマラソン大会で寄附金をもらったと聞いているが、その使い道は。社会教育課長 実行委員会を立ち上げて以降、協賛金ということで各企業へ訪問した。その中で、沼田建設さんへお伺いした際、地域貢献事業として100万円の寄附を頂き、参加者へのふるまいとのぼり旗の作成に使わせていただいた。

議案に対する議員の賛否

※以下の審議された議案は賛否が分かれたものです。
○ → 賛成 ● → 反対

議案等番号	会派名	起新の会			市民・公明クラブ			穆清会			絆の会			会派に属さない議員			採決結果		
		佐藤義一	石川正志	小嶋富弥	小野周一	山科正仁	佐藤卓也	高橋富美子	小関淳	遠藤敏信	奥山省三	森儀一	今田浩徳	清水清秋	新田道尋	佐藤悦子		叶内恵子	下山准一
議案第92号	新庄市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可決
議案第93号	平成29年度新庄市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可決
議会案第4号	地域高規格道路石巻新庄道路の早期実現等に関する意見書の提出について	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決
請願第6号	憲法9条を守ることを求める請願	●	●	●	-	●	●	●	○	●	●	●	●	●	○	○	●	●	不採択

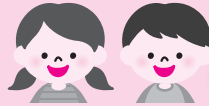
※議長は採決に参加しません。
※原案のとおり採決することについての賛否を諮っています。(新庄市議会会議規則第70条：可をもって諮ることを原則)

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
憲法9条を守ることを求める請願	新庄市城南町9番44号 中島 隆 新庄市十日町2754番地の4 高山 昌三	佐藤悦子 遠藤敏信	不採択

一般質問

一般質問は、12月6日と7日の2日間、6名の議員が行いました。質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。



ねえ、かむてんおしえて

一般質問って何?



一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。



12月定例会一般質問の質問者と質問事項

佐藤 義一

1. 温泉施設について
2. 隣村の豚舎の臭害について
3. 運動施設場の雨漏り対策について

小嶋 富弥

1. 人口減少対策について
2. エコロジーガーデンについて
3. 学力テストについて

叶内 恵子

1. 新庄市協働セミナーについて
2. 昔語りのきこえるみちについて

小関 淳

1. 地元工芸品などの技を次世代に繋げる方策について
2. 芸術文化・スポーツの普及や振興のための施策について

奥山 省三

1. 道の駅について
2. 奥羽金沢温泉の閉鎖について

佐藤 悦子

1. 入札参加者の選定について
2. 国保税の引き下げについて
3. 介護保険料引き下げについて
4. すべての子どもの発達保障について

多くの市民の温泉入浴環境整備の要望にどう応えるのか

市長「市民の声を重く受け止め対応」

野中地区などの住民のかが、季節や時間帯によ

◎隣村からの豚の飼育出荷業者の不完全な飼育等による臭害をどのように解消していくのか。

◎多くの市民が熱望する温泉施設の存続等の環境整備にどのようにお応えするのか。

市長 奥羽金沢温泉には、これまで温泉を活用した健康増進という観点から運営費を補助してきました。このたび、事業者、そして市民の方々から閉館後の要望をいただいており、重く受け止め、今後の対応については、市議会、市民の皆様と議論を積み重ねて協議していきます。



佐藤 義一 議員



12月末で閉館した奥羽金沢温泉

っては窓も開けられない状況というほど悩まされてきた。これまでも、豚舎の臭気対策を行ってきたが改善しない現状にある。また、鮭川村、養豚業者、野中地区での協議を続けてきたが解決までには至っていない。今後も行政区域をまたぐ臭気問題である点から県との協議、そして畜産業を監督する立場である鮭川村への働きかけを行っていく考えである。

全国学力テストの結果について

教育長「学力向上戦略に取り組む」



小嶋 富 弥 議員

◎「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されたが、総じて全国、県平均を新庄は下回っている。これらについて教育委員会の見解を問う。
教育長 教育委員会では、安定した学級経営の中で授業を進め、授業改善を図っていく必要があると考えている。そのため、次のような学力向上戦略を立て取り組んでいく。

■全国学力調査の正答率(%)

		県平均	全国平均(公立)	文科省は県平均を小数点以下を四捨五入し整数値で公表
小学6年	国語A	76	74.8	
	国語B	55	57.5	
	算数A	77	78.6	
中学3年	算数B	44	45.9	
	国語A	78	77.4	
	国語B	72	72.2	
数学	数学A	63	64.6	
	数学B	46	48.1	

8月29日付 朝日新聞

①児童・生徒の意欲につながる課題、学び合いのさせ方、思考力を育てる授業づくり等により授業改善を行う。②つまづいている問題を授業に活用しながら克服を図る。③教育委員会で各学校での改善点を確認し支援していく。④各学校において補充の時間を確保させる。⑤子ども達が目標を持って学ぶことが学習の意欲につながることを考えるため、自分の将来について考える活動を取り入れる。

最後に、市子どもたちのテレビやゲームをする時間が長いという課題があるため、家庭学習の奨励など家庭の協力も得られるよう啓発をはかっていきたいと考えている。

◎テストの公表について前から点数の発表をしていない。なぜか。オープンな情報提供を問う。
教育長 点数を公表するという点に関しては、学校のほうで委縮してしまうということ、また点数のためのテストという状況になり、教師も保護者にも悪い影響を与えかねないと感じている。教育委員会としては、まずは授業をいかに改善していくか、そして、子どもたちが授業が楽しいと思えるような授業をしていくということに力を入れていくと考えている。

協働のまちづくりは必要なのか？

市長「地域課題解決のための参考に」

◎H27年度28年度に計4回開催されたワークショップ形式で学ぶ新庄市協働セミナーにより何ができるのか、市の分析、総括を伺う。
市長 このセミナーは、市民と職員が共に学ぶセミナーを通し、それぞれの協働に対する意識向上を図る目的で実施したものである。その中で出てきた課題は、地域課題を解決するための参考とさせていただいている。このセミナーには高校生も参加していたが、今後さまざまな年代の方が参加できるような研修を実施しながら、市民と市が様々な分野において連携できる環境を整え、協働によるまちづくりを推進



叶内 恵子 議員

◎中心市街地の活性化が市民の一つの大きな課題であると思う。昔かたりのみちの整備から約20年が経過し現存するシンボルロードの成果を総括する必要があると思う。如何か。
市長 この整備事業は、市の地域資源である民話を題材としたモニユメント等を設置することで商店街を回遊する活性化のツールとして活用してきた。現在、そのシンボルとして生まれた市のイメージキャラクター「かむてん」を活用し、新庄市の魅力を発信しているところである。今後においても、各商店街でモニユメントやシンボルロードを活用した独自の取り組みに協力していくなど、商店街や商工会議所等と活用について話し合っていきたいと考えている。



民話の里の起爆剤シンボルロード

頑張る若い世代に激励金などの経済的支援を

教育長「県にも働きかけ、市としても前向きに検討していく」



教育長 現在、小・中
◎小中学生から社会人まで、芸術文化・スポーツの分野で東北・全国大会に出場し活躍しているが、上位大会に進むほど経済的負担は大きくなる。人口減少対策として「新庄市民でよかった」と実感できる充実した支援制度にすべきでは。



小 関 淳 議員

生のスポーツ及び芸術文化活動の振興を図ることを目的に、東北大会、全国大会に出場する個人・団体に對して基準を設けて出場奨励費を支給している。東北大会、全国大会への出場は県の代表として名前を背負った出場にもなるため、県に對して補助制度創設の要望等を積極的に行っていきたくと考えている。高校生や社会人への支援については、スポーツの分野で行っているが芸術文化の分野での活躍に對する支援は遅れている。今後は、他市の状況を参考にしながら当市に於いた支援を研究していく。

◎地元工芸品などの技を次世代に繋げるためにも、地域おこし協力隊制度を活用しては。

市長 本市の地元工芸品として、新庄亀綾織、新庄東山焼などがある。地域おこし協力隊には、エコロジーガーデンで開催しているキトキトマルシェでのワークショップにおいて、手づくりの魅力を発信していたなど新庄最上の技を次世代へ繋ぐ試みを行っている。現在、市には5人の地域おこし協力隊がテーマごとに活動している。自治体の中には後継者育成という観点から活動しているところもあるため、そういった視点も検討が必要ではないかと考える。

道の駅の基本構想について

市長「市内4ヵ所を候補地に」



奥 山 省 三 議員

◎今年度、道の駅基本構想として388万の予算計上がされているが、基本構想がどの程度まで進んでいるのかお聞きする。また、検討委員会ではどのような話し合いが行われているのか。

市長 道の駅の基本構想については、東北管内の道の駅において実績のあるコンサルタントに発注し作業を進めている。その他、農・工・商・観光関係者等12名からなる外部検討委員の意見をお聞きしながら基本構想の取りまとめを行っており、立地場所、整備方針などの項目について検討を重ねているところである。現在、候補予定地であるエコロジーガーデン付

近、県立新庄病院の建設予定地付近、高速道路の結節点付近、一般国道の結節点付近について意見をいただいている。基本構想を取りまとめた後は、整備スケジュールや運営方法等を検討する基本計画へと進んでいく予定である。

◎今年12月で閉鎖される奥羽金沢温泉の閉鎖後の対応は。市の出資金はどうなるのか。温泉側とどのような話し合いがされているのか。

市長 市民や事業者からの要望書は重く受け止めており、対応を協議していきたい。閉鎖後の出資金の取り扱いも含めた対応については、事業者より株主総会を開催し、法人解散の手続きを執行すると聞いており、法に基づき適正な財産処理がなされるものと考えている。





佐藤悦子 議員

市内に本社のある地元業者に仕事を

市長「入札参加条件の見直しは考えていない」

◎地域貢献度の高い市内に本社のある地元業者に、市の仕事をさせるべきではないか。高額の仕事は、地元を入れる共同事業者という条件をつけてはどうか。

一件あたり一千万円以下の物は、市内に本社のある業者に限定とする、酒田市や東根市のようにできないか。

市長 当市の入札参加者の選定は、「新庄市建設工事指名競争入札参加者の格付等に関する規程」に基づき作成した名簿から指名している。名簿は地域貢献度を考慮しているものだが今後も他市の格付け基準や社会情勢を踏まえた見直しを図っていきたくないと考えている。

また、今年度の発注工事においては、市内業者のみで実施できるものがほとんどである。共同事業者にすることが必要となる場合は地元業者の参加を導くことは当然のことと考える。

市内に本社のあるものに限定できないかということであるが、指名競争入札には、機会均等、公平性、透明性、経済性を確保することが求められる。当市においては市内業者の育成、活性化等を目的に指名条件としているが、さらに区別し排除することは市の裁量権の乱用とも指摘されかねないため入札参加条件の見直しは考えていない。

主体工事	沼田建設・新庄・鈴木・柴田組・升川建設 特定建設工事共同企業体
機械設備	弘栄・黒澤特定建設工事共同企業体
電気設備	ユアテック・東北電化工業 特定建設工事共同企業体
再生可能エネルギー設置	株式会社イノマタ電工新庄営業所
カーテン設置	沼田建設 株式会社
設計・監理	株式会社 秦・伊藤設計
建物関係事業費	28億9600万円

とびっくす

萩野学園建設に係る補助金問題 再発防止と今後の対応を確認

11月9日全員協議会を開き、萩野学園建設にかかわる補助金の申請に誤りがあったとする会計検査院の報告を受け、経過と今後の対応を協議した。

平成25・26年度の2か年に渡って行った施設一体型小中一貫教育校の校舎・体育館建設事業は、文部科学省の公立学校施設整備費負担金及び学校施設環境改善交付金の制度を活用して実施してきたが、会計検査院による実地検査で萩野中学校における交付金の制度活用における一部について交付申請の面積要件に対する指摘があり、1億4,325万9,000円が過大交付とされた。

今後は、同省からの通知により、返還への手続きに移ることとなる。

今後における再発の防止策については、自己チェックを可能とする文科省作成のシートを活用した体制強化と、担当者等による研修の拡充などによって行うこととする。

議会基本条例を検証

11月28日議会運営委員会を開き、平成26年1月1日に施行された新庄市議会基本条例の検証を行った。同条例第25条に基づき、施行から約4年経過する条例に内容が現行の議会活動に即しているか協議したもので、文言などの修正は行わないとした。

議会報告会の充実

議会改革推進委員会では、平成29年7月10日から8月31日まで委員会を3回開催し、「議会報告会のあり方、課題」と「有効なスケジュールの確認」を協議した。そして、今後、市民の方々の意見を議員全員で共有することと報告会後のスケジュールを遵守することを提案書として議長に提出した。

この街に学ぶ

総務文教常任委員会

魅力ある市政政策メニューの拡充

視察日程

平成29年11月1日～2日

1. 視察内容と視察先

①人口減少対策（定住、移住）事業について（群馬県桐生市）

②タブレット端末を活用した学校教育について（東京都荒川区）

2. 視察参加議員

奥山 省三・山科 正仁
小嶋 富弥・森 儀一
新田 道尋・下山 准一
小関 淳・星川 豊

3. 所感

桐生市では、全国的な人口減少・高齢化現象に対する政策として「誰もが住みたいと思えるまち、誰もが住み続けたいと思えるまち桐生」の具現化として様々な事業を複合的に推進していく事としていた。また、空き家対策政策として、空き家見学会の実施、お試し暮らし住宅等の体験を取り入れて事業の伸展を図っている。マスコミ向けにも市長自らがつアップセールスを発信し桐生暮らし体験ツアーの実施も積極的に行っている。当市においても、人口流出・定



流暢にタブレットを使いこなす児童たち

住促進の為のあらゆる手法にチャレンジしていく必要性を感じた。

荒川区立尾久小学校ではタブレットPCや電子黒板を活用した授業を見学した。低学年の体育の授業では、自分の動きを撮影し改善点を発見し修正するといったことにタブレットPCが活用されていた。懸念される手書き能力の低下対策にはバランスのとれた教育の実施が大事であり、しっかりとカリキュラムに入っていた。新規導入には多大な財政負担と教職員のスキルアップが必要だが、今後のグローバルな世の中を生きて行く子供達の将来のために当市でも必要な施策であろうと感じた。

産業厚生常任委員会

市民自らの取り組みに行政は後押し！

視察日程

平成29年8月9日～10日

1. 視察内容と視察先

①中心市街地活性化について（新潟県新発田市）

②城下町の町屋を生かした観光振興について（新潟県村上市）

2. 視察参加議員

佐藤 卓也・石川 正志
佐藤 悦子・叶内 恵子
今田 浩徳・清水 清秋
遠藤 敏信・高橋富美子
佐藤 義一



新発田市役所

3. 所感

新発田市では平成29年1月の新庁舎建設にあわせ、中心市街地の再編を行ってきた。新庄市では新たに県立新庄病院の建設が見込まれている。少子高齢化社会を迎えている本市の課題の一つは、中心市街地活性化による賑わいの創出と交流の場を最大限活かしていくことである。そのためにも、市民全体で連携や協働し、市民自ら積極的に活性化に向け取り組んでいかなければと感じた。



村上市の町屋外観再生プロジェクト

全国や市民に呼びかけ基金を作り、格子窓や木の外壁で昔ながらの風格のある街並みの再生。

もう一度新庄の宝とは何かを確認し、様々なアイデアを持ち寄ること新庄が違う角度から観光振興を進化させられると感じた。

市民・公明クラブ

1. 視察日程

平成29年7月25日(火)～27日(木)

2. 視察事項(視察先)

①インバウンド事業の戦略

(東京都渋谷区 インフィニテ

イ・コミュニケーションズ(株))

②通常ごみ減量化および資源ごみ

循環対策への取組(東京都江東

区 NPO法人地球船クラブ

エコミラ江東)

③当市連携事業店舗のコンセプト状

況(東京都豊島区 座・ガモール)

④小中学校における国際理解推進

業務関連(千葉県松戸市 松戸

市教育委員会)

3. 視察参加議員

小野 周一・佐藤 卓也

高橋富美子・山科 正仁



エコミラ江東発泡スチロール資源化の様子

絆の会

1. 視察日程

平成29年11月13日(月)～16日(木)

2. 視察事項(視察先)

①観光行政の取組みについて(沖

縄県石垣市)

②公設市場の活用と取組み(沖

縄県石垣市)

③地域の中にある米軍基地(沖縄

県嘉手納町)

④最上広域と中部広域の交流事業

(沖縄県沖縄市)

3. 視察参加議員

今田 浩徳・清水 清秋

新田 道尋・森 儀一



道の駅かでな

穆清会

1. 視察日程

平成29年11月6日(月)

～8日(水)①②

平成29年11月14日(火)

～16日(木)③④⑤

2. 視察事項(視察先)

①地方自治体財政分析セミナー

(東京都立多摩図書館)

②地方都市経済再生事業について

(茨城県取手市)

③農産加工施設を利用した地域づ

くりについて(山口県萩市)

④人口減少予測に抗し、生き残り

にかける町の取組み(島根県

邑南町)

⑤行財政改革の取組みについて

(島根県松江市)

3. 視察参加議員

遠藤 敏信・奥山 省三

小関 淳

年度	国定市	指定市	指定町	指定村	計
22年度(18～)	72	13	23	3人(1町)	111
23年度	153	24	30	4人(1町)	191
24年度	160	24	42	7人(1町)	233
25年度	138	35	56	10人(1町)	239
26年度	147	36	63	16人(1町)	262
27年度	201	21	49	19人(1町)	330
28年度	144	32	65	16人(1町)	257
合計	871	153	262	59人(1町)	1345

※平成22年度から配置した、定住3-TVレポートの開始により島根県に定住した実績。
※27年度から相談員を2名に増員、定住相談体制を拡充

邑南町の定住人口の推移

起新の会

1. 視察日程

平成29年7月24日～26日

2. 視察事項(視察先)

①将来世代に負担を背負わせない

「公共施設経営」(宮崎県宮崎市)

②6次産業化の取組(都城市)平

成29年度はばたけ都城6次産業
化推進協議会取組概要

③シャッター商店街からの脱却と

再生について(日南市) 油津商

店街再生の動き「創客創人」

3. 視察参加議員

佐藤 義一・小嶋 富弥

石川 正志



油津商店街

会派に属さない議員

叶内 恵子

1. 研修日程

平成29年11月6日(月)～7日(火)

2. 研修事項(研修先)

よくわかる市町村財政分析基礎講座

(東京都立多摩図書館)

詳しくは新庄市議会ホームページを
ご覧下さい。

ようこそ議場へ

12月6日、7日に行われた市議会一般質問には、多くの方が傍聴に訪れました。一般市民6名のほか、日新小学校6年生111名と萩野学園6年生51名、合わせて168名の方が議場を訪れ、議員と執行部のやり取りに熱心に耳を傾けていました。



かむてん © 新庄市×富樫義博



議会を傍聴しませんか — 市民の皆さんの意見が反映されていますか —

どなたでも議会を傍聴することができます。当日、直接議会事務局にお越してください。受付簿に住所・氏名を記入していただくほかは、面倒な手続きはありません。傍聴席には限りがありますので、団体の場合は事前に議会事務局までご連絡ください。

市民の声を聞く

第11回議会報告会

第11回目となる議会報告会を、11月20日(月)、11月21日(火)、11月22日(水)の3日間、9会場で行いました。合わせて76名の方々の参加がありました。

数多く寄せられた参加者の「声」を議会で集約し、その結果を1月4日に議長から市長部局に率直な「市民の声」として伝え、回答を求めていくことに致しました。



■ 市政に対する要望・提案 (全26項目のうち、11項目を抜粋)

・地震を想定した避難訓練だけでなく、今後は、豪雨想定(変化している災害にマッチした想定)の避難場所の指定や取り組み推進も必要ではないか。特に避難場所の指定(例えばわくわく)には深夜の災害等にも避難出来るように十分な条件配慮をしてほしい。そして避難場所として設定したら必要な時に5〜10分で開放できるシステムが必要だと考えるが如何であるか。

・山屋温泉(奥羽金沢温泉)のような市民温泉は必要だと思ふ。他自治体では直営の温泉もあると聞く。今後の山屋温泉経営を市の支援で継続できるようにしてほしいと考えるが如何か。

・小説家「今村翔吾」氏が新庄由縁の小説を出されたが、今後、映画化など新庄まつりの囃子や食など発信していく上で、いい機会になるのではと考えるが如何か。

・桧町の流雪溝整備について、年次計画がずると延ばされている、工事年次等の回答がほしい(現状が雨水溝であ

るうし、流雪溝整備計画の存在自体を確認すること)。

・鉄砲町では、毎年、水路委員を決め、さらに側溝周辺の人に水当番になってもらい、1日1回水路の見回り、ごみなどを拾い、自分でできないときは、水路委員に連絡してもらうようにしている。このよ



うな鉄砲町の、住民の方々のモラルやルールづくりをすすめるという取り組みを市として周知普及するべきではないか。

・子育て、少子化が課題となっている中、子供の通学路の安全性について不十分なのではないかと感じる。特に、市内

の市道で歩道が狭いところは、道路を拡幅し歩行者の安全性を向上させてほしい。また、国道(県管理)の踏切には、歩道が設置されておらず、冬期間は危険な箇所があるので早急に対処願いたい。如何か。若者の定住促進を図る上で、建売住宅を購入する際の補助をしては如何か。

・上下水道整備地区で接続していない住民が多い。普及率を上げて水道料金低減にも努める行政努力が必要と考えるが如何か。

・スクールバスの運行には条例による条件があるのは承知しているが、特に低学年の児童登下校や冬期間限定の安全性を考慮した条件緩和策などはできないかを伺う。

・学校の冷房設備に関し、午前中は大丈夫だが、暑くなると体調不良を訴える子供もいることから前向きに検討してほしいが市の方向性を伺う。

・議員の方々へ、積極的な政策提言や議員立法、報告会での提案や意見について解決への行動力およびチェック体制の強化を図って頂きたいが如何か。

■ 市民と議会の意見交換が しやすかったーまとめー

この度の議会報告会は、前回よりも参加者が56人減っていました。しかし、市民の身近な議会を目指す取り組みとして各町内の公民館で議会報告会を開催することは、市民と議会の意見交換がしやすいというお言葉をいただきました。一人でも多くの方に参加いただく取り組みは始まったばかりです。さらに工夫を重ね、お子様からお年寄りまで、市民の皆様と向き合う議会報告会を目指して努力して参ります。市民の皆様今後とも宜しくお願い申し上げます。



特集

未来を育む子供たち

沼田小学校6年
五十嵐 ^{はな} 瑛菜 さん

「私の学校自慢」



私の通っている沼田小学校には、私たちが誇りをもてるいいところがたくさんあります。その中で、特に沼田らしいところを二つ紹介します。

一つ目は、明るく元気で学年関係なく仲がいいところです。夏には、ときわの森で遊んだり、グラウンドでサッカーをしたりします。冬には、体育館でなわとびやおにごっこをして、進んで体を動かして遊んでいます。また、9月に行われた町内対抗リレー・マラソン大会は、今年で62回目という沼田小の伝統的な行事の一つで、白熱した走りには、元気な沼田っ子らしさがあふれています。町内ごとに練習した600Mリレー走は、町内が一体となって応援し、本当に盛り上がります。

二つ目は、歌が大好きなことです。合唱部や全校生の歌声は大きな自慢です。朝の歌の時間には、学校中に、それぞれのクラスのきれいな歌声が響いています。10月に行われた沼田まつり合唱祭では、「みんなに届け、沼田っ子のハーモニー」のテーマのもと、会場全体が美しいハーモニーに包まれました。

私たち沼田っ子が、大好きな沼田小を誇りに思い、さらに良い学校にしていきたいと思います。

3月定例会

2月20日(火) 請願締切

3月2日(金) 開 会

5日(月) 一般質問 **中継あり**

6日(火) 一般質問

7日(水) 常任委員会

8日(木) 常任委員会

9日(金) 予算特別委員会

12日(月) 予算特別委員会

13日(火) 予算特別委員会 **中継あり**

20日(火) 最終日

請願は随時受け付けております。
是非、議場に足を運んでください。



市議会 インターネット中継

ウェブサイトで検索

新庄市議会 中継

検索

議会をインターネット中継しています。そのほか、市役所の市民課フロア、市民プラザでも視聴できますのでぜひご活用ください。
※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。

議会報編集委員の紹介

委員長	石川 正志
副委員長	叶内 恵子
委員	佐藤 悦子
	今田 浩徳
	遠藤 敏信
	山科 正仁

新たな年を迎え、市民の皆様も益々ご健勝のことと存じます。議会だよりも早いもので第139号となりました。初期の発行よりも徐々に充実してきていると思うのは自画自賛でしょうか。
今後、新庄市はかなりの財政支出を覚悟しなければならぬ時期を迎えます。学校施設建設、県立新庄病院機能充実のための負担、看護師養成機関設置などなど目白押しです。
歳入(収入)、歳出(支出)、基金(預金)、地方債(借金)この4つの大きなバランスをいかにとっていくか。市長の舵取りの見所であり、議会としても市民の皆様も、重要視しなければならぬことです。
新庄市の財政が「難破船」にならないようにしっかりと私たちは「羅針盤」として見守りましょう。乗船しているのは我々市民です。これは忘れてはいけません。
(記・山科)

あとがき

